

フィールドでのノイズトラブルから考察した評価方法 ～半導体リレー方式を採用したインパルスノイズ試験器のご紹介～

主催

大阪府電磁波利用技術研究会

共催

大阪府立大学 大学院工学研究科 電気情報システム工学分野
地方独立法人 大阪産業技術研究所
産業技術連携推進会議 近畿EMC研究会

日時：令和元年11月29日(金)

13:00～17:00 (12:30開場)

場所：大阪府立大学 I-Siteなんば A1+A2

(大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階)

定員

50名

受講料
無料

多くの企業様がお使いになっているノイズシミュレーター試験器ですが、水俣条約の施行（2021年）により水銀リレー方式の試験器は製造が中止になります。試験の継続について岐路に立たされている多くの企業様のご決断の一助となるよう、半導体リレー方式の試験器を交えてご説明を致します。

プログラム (今回のセミナーは「4部+質疑応答」という構成です)

講演内容：

【1】インパルスノイズ試験の有効性 (13:00～13:30)

まず原点に立ち戻り、ノイズシミュレーターの有効性に焦点をあてたご説明を致します。

【2】電源線ノイズ試験の国際規格とインパルスノイズ試験の現象 (13:35～14:35)

インパルスノイズの電子回路への振る舞いを国際規格EFT/Bと比較します。

【3】静電気放電試験で発生する市場トラブルの実例と誤動作メカニズム (14:45～16:00)

静電気現象・試験における厳しい状態の再現と誤動作現象を解析します。

【4】インパルスノイズ試験のデモ (16:15～16:45)

実機を用いた波形観測などのデモンストレーションを行います。

講師：【1】：株式会社ノイズ研究所 柳 英隆 氏

【2】～【4】：株式会社ノイズ研究所 石田 武志 氏



お申し込み・お問い合わせ

下記専用ページかE-mailで、大阪府電磁波利用技術研究会までお申込みください (締切：11月27日(水))

●本セミナー申込み専用ページ <https://jp.surveymonkey.com/r/93WLRDB>

●E-Mail denjiha@dantai.tri-osaka.jp

本セミナーに関する電話でのお問い合わせは、(地独)大阪産業技術研究所 和泉センターの担当職員までお願い致します (電話：0725-51-2616)

大阪府電磁波利用技術研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1 (地独)大阪産業技術研究所 和泉センター内

会場までの交通案内

※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。
【会場付近案内図】



【鉄道案内】

- 南海電鉄「難波駅(中央出口)」下車、南へ約800m、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1号出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

【建物外観】

